

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和2年4月16日(2020.4.16)

【公開番号】特開2018-143671(P2018-143671A)

【公開日】平成30年9月20日(2018.9.20)

【年通号数】公開・登録公報2018-036

【出願番号】特願2017-44404(P2017-44404)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和2年3月9日(2020.3.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも第1特典、および該第1特典よりも遊技者にとって有利な第2特典を付与する遊技機であって、

識別図柄を表示領域上で一方向に移動させることによって、前記識別図柄を変動表示させる変動表示手段と、

前記識別図柄を停止表示させる停止表示手段と、

前記識別図柄が第1特定図柄で停止表示されると前記第1特典を付与し、前記識別図柄が第2特定図柄で停止表示されると前記第2特典を付与する特典付与手段と、

前記識別図柄が前記第1特定図柄で停止表示された後に、前記第2特定図柄での表示に切り替える昇格演出を実行可能な昇格演出実行手段と

を備え、

前記昇格演出実行手段は、前記昇格演出として、前記識別図柄の移動方向に向かって前記表示領域の中央を過ぎた位置に前記第1特定図柄を停止表示させた後、前記識別図柄を逆方向に移動させることによって、前記表示領域の中央を逆方向に過ぎた位置に前記第2特定図柄を表示させる

ことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

請求項1に記載の遊技機であって、

前記表示領域は、前記識別図柄の移動方向に配列された2つの表示画面によって形成されており、

前記昇格演出実行手段は、前記昇格演出として、前記識別図柄の移動方向に向かって下流側の前記表示画面で前記第1特定図柄を停止表示させた後、前記識別図柄の移動方向に向かって上流側の前記表示画面で前記第2特定図柄を停止表示させる

ことを特徴とする遊技機。

【請求項3】

請求項1または請求項2に記載の遊技機であって、

前記表示領域の手前側で移動可能に設けられた可動部材を備え、

前記昇格演出実行手段は、前記昇格演出として、前記第1特定図柄を停止表示させると、前記識別図柄の移動方向の下流側から前記第1特定図柄に向かって前記可動部材を移動

させると共に、移動する前記可動部材の前方の位置で前記第1特定図柄を前記識別図柄の移動方向とは逆方向に移動させることによって、前記第1特定図柄の表示を前記第2特定図柄の表示に切り替える

ことを特徴とする遊技機。

【請求項4】

請求項2に記載の遊技機であって、

前記識別図柄は複数の図柄によって形成されており、

前記昇格演出実行手段は、前記下流側の表示画面で前記第1特定図柄を停止表示させた後、前記昇格演出で前記第2特定図柄を前記上流側の表示画面に移動させるに先立って、前記第1特定図柄を形成する複数の図柄の一部を前記上流側の表示画面に移動させる昇格期待演出を実行可能となっている

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上述した課題の少なくとも一部を解決するために、本発明の遊技機では次の構成を採用した。すなわち、

少なくとも第1特典、および該第1特典よりも遊技者にとって有利な第2特典を付与する遊技機であって、

識別図柄を表示領域上で一方向に移動させることによって、前記識別図柄を変動表示させる変動表示手段と、

前記識別図柄を停止表示させる停止表示手段と、

前記識別図柄が第1特定図柄で停止表示されると前記第1特典を付与し、前記識別図柄が第2特定図柄で停止表示されると前記第2特典を付与する特典付与手段と、

前記識別図柄が前記第1特定図柄で停止表示された後に、前記第2特定図柄での表示に切り替える昇格演出を実行可能な昇格演出実行手段と

を備え、

前記昇格演出実行手段は、前記昇格演出として、前記識別図柄の移動方向に向かって前記表示領域の中央を過ぎた位置に前記第1特定図柄を停止表示させた後、前記識別図柄を逆方向に移動させることによって、前記表示領域の中央を逆方向に過ぎた位置に前記第2特定図柄を表示させる

ことを特徴とする遊技機。